

第5次原村総合計画後期計画

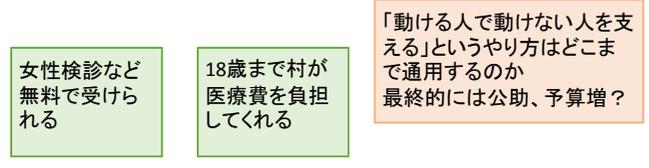
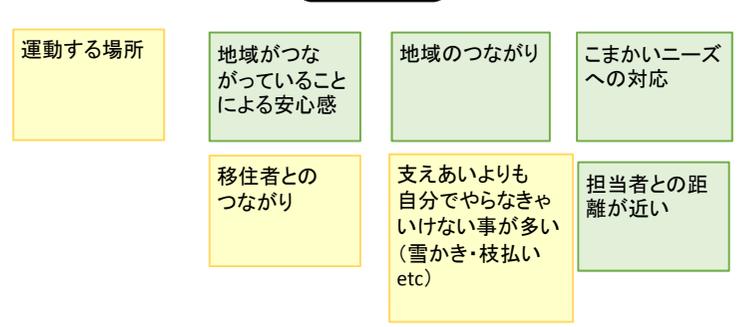
8/3 第4回ワークショップ結果

『健康・福祉・子育てについて』

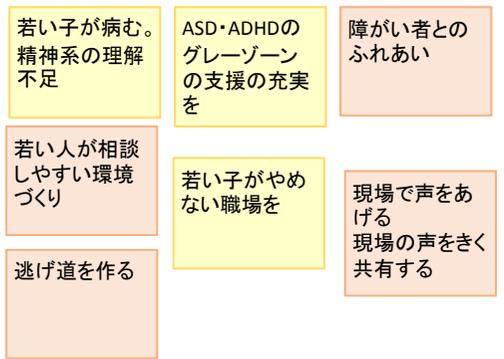
『健康・福祉・子育てについて』 グループA



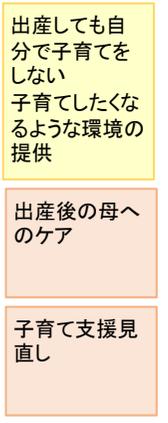
地域



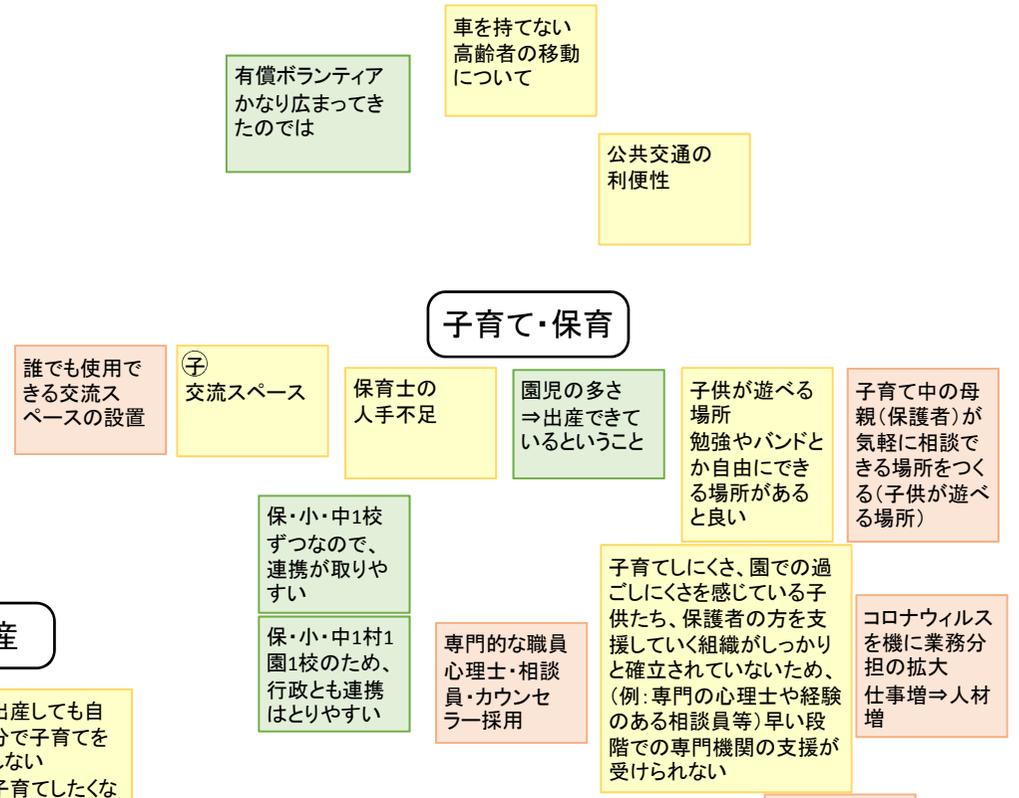
環境



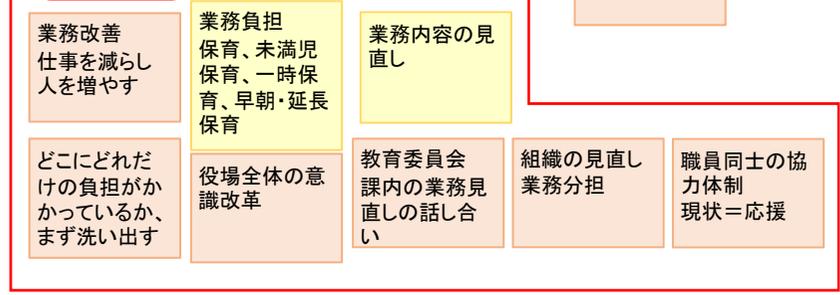
出産



子育て・保育



優先



『健康・福祉・子育てについて』 グループB

凡例

強み	弱み	取り組み
----	----	------

優先

子供の医療費が無料になること	村内に診療所	近くの市町村に比較的大きな病院がある	
老人医療費に金がかかり過ぎているため、老人ばかりが得する村になっている	老員医療費に金がかかり過ぎている	老人医療費に金がかかっているため、現役世代の負担が大きい	老人医療費の年齢の更なる引き上げまたは廃止

保育園

保・小・中が1つずつなので連携がとりやすい	保育園3才未満が手いっぱい	保育士の人員増
	4才児(検)健診がほしい	

障がい児

子供が増えると当然障がい児も増える。そのフォロー、療育施設ほしい	障がい児がいて、保育士対子供の人数比とは別に人員が足りない	障がい児早期発見のための専門家がいない 保育士の負担になる	母子発達相談は毎月の回数が少なく、いっぱい
言葉の相談 母子発達相談など村でやっ ていてよい	療育施設が遠い(基本的に下諏訪まで行く)	障がい児の受入のための施設・設備が不足	大人の発達障がいの講演会が夜に一度あった
引きこもり支援不足	近隣と一緒にまたは独自に施設を建てる	療育施設をつくる	心理士、作業療法士を常駐させる
			乳児の親が集まる場での発達障がいに関する啓発
			子供支援センターをつくる(障がい児、子育て支援などのサポートセンターとして)

高齢者

働く高齢者が多い	高齢者 移住して来られた方の家族のサポート不足	施設の職員不足	ケアマネ不足
障害福祉サービスの管理する専門家がない	高齢者が自由に通える場が少ない(特に男性)	資格取得補助	必要な人員の把握とその職員の採用

子育て

子育てサロン	あひるクラブ ジュニア教室など子供を対象とした教室が多い	子供に対して自然が近くにあるならではの遊びを提供できる。(竹を切って水鉄砲作りなど)	シングルマザーも生活できる(と聞いたことがある)
--------	---------------------------------	--	--------------------------

住民同士顔が見える関係

住民同士のうわさに気を付けているのでなかなか本心が言えない

通院、介護サービス利用の不足

国が施設の統合を推す中、保健センターを独立して建ててしまった

LGBTなど同性婚のパートナー認定をしてはどうか

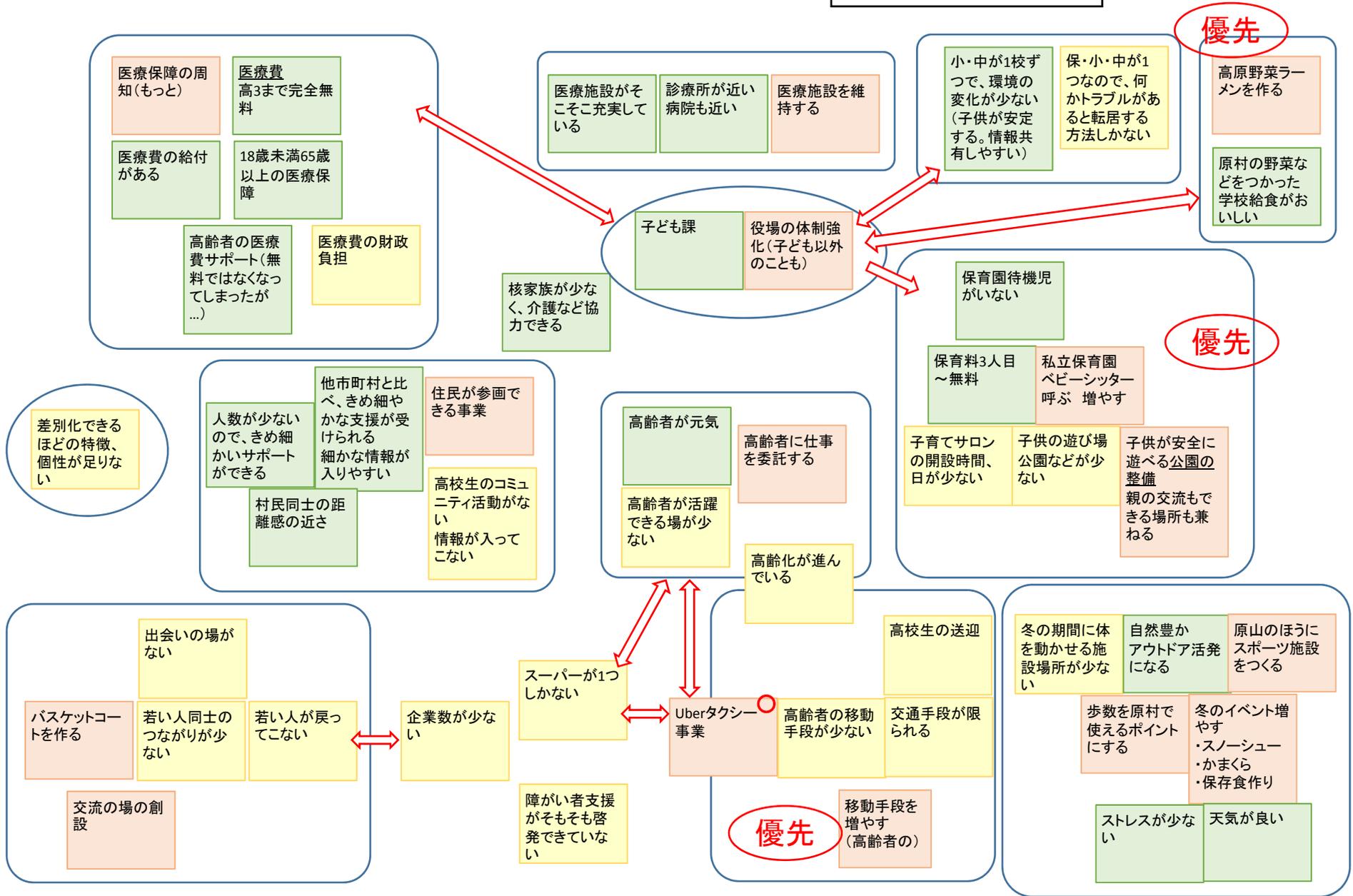
『健康・福祉・子育てについて』 グループc

凡例

強み

弱み

取り組み



優先

優先

優先